災害と物価高から市民守る　日本共産党



市民運動室長

なかやま英夫（ひでお）

✤プロフィール
1961年、北海道旭川生まれ、中央大学卒。2006年より松戸に定住。2020年より「新松戸駅東側のまちづくりを考えるネットワーク」に参加、2023年「みんなで市庁舎現地建て替えを考える市民ネット」に参加し現在世話人。

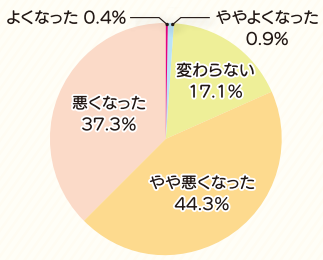
✤主な活動地域
小金地域、小金原地域、金ケ作、常盤平1丁目、六実・六高台地域、五香地域

20年前から縁あって松戸に定住し、市議会を傍聴するようになり、松戸のまちづくりに疑問を感じ、市民運動に参加するようになりました。その中で日本共産党のみなさんの真剣さと頑張りに信頼を寄せ、日本共産党に入党しました。

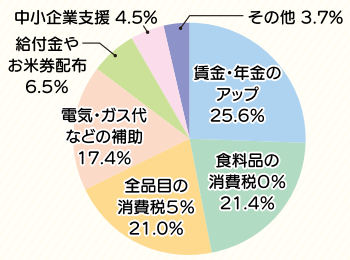
市民本位の市政に変えたい、その思いで、みなさんの声を市政に届けるために全力で頑張ります。

日本共産党のアンケートに寄せられた市民の「暮らしが苦しくなった」の声

あなたの暮らしは物価高騰前後でどう変わりましたか。



あなたが最も望む（有効と考える）物価高騰対策は。



この人にバトンを　日本共産党松戸市議会議員　しまむら新一

この4年間、教職員不足解消や学校給食費無償化、体育館のエアコン設置などに取り組んできました。今回、ずっとかかわり続けた平和団体の灯を消さないために、やむなく議員を退くことなり、大変申し訳なく残念な思いです。

いま、自治体は「稼げる○○」など大型開発重視に大きく傾いています。この流れを変えるために、市役所の移転建て替えを現地建て替えに切り換えさせたリーダーシップ、道端の草刈りまで市民の要望にいち早く動くフットワーク、両方を兼ね備えた、なかやま英夫さんへのバトンタッチに全力でがんばります。

市民運動とともに…中山英夫の足どり

父親の転勤で北海道内を転々とした幼年時代でしたが、高校1年から大学卒業まで松戸に居住し、民間大企業に就職して松戸を離れますが、2006年より新松戸に定住し、市政への関心を強め市議会傍聴を続けています。

2020年より「新松戸駅東側のまちづくりを考えるネットワーク」に参加し、この問題で2026年6月の「噂の！東京マガジン」（BS-TBS）に登場しました。

2023年からは「みんなで市庁舎現地建て替えを考える市民ネット」にも参加し市内13か所での学習会をリード。今年3月、松戸市は市庁舎の現地建て替えを決めました。この問題でも「噂の！東京マガジン」に2回出演しました。

みなさんと力合わせて実現めざします

◆どの子ものびのび
- 中学校給食無償化　・教員不足解消

◆安全な街づくり
- 水害対策の強化　・通学道路、生活道路の安全対策

◆高齢者を応援
- タクシー料金の半額補助　・補聴器購入補助の増額
- 廃止された六実老人福祉センターの代替施設を

◆市民と地域の願い
- 国民健康保険料引き下げと子どもの均等割り廃止
- 小金原団地と総合医療センターを直接結ぶ公共交通機関を

水害から市民を守る

日本共産党のみわ由美県議と松戸市議団は8月13日の豪雨被災直後から被災住民のもとに駆けつけ、災害対策本部を立ち上げ、被災者の声を直ちに松戸市に届け、ワンストップコールセンターを開設させました。17日は被災者の声を18項目にまとめた要望書を市に提出しました。



走行不能になった車の相談を受けるなかやま氏

水害対策を抜本的に強め、中学校給食無償化、教員不足解消を！

まっど民報　2026年10・11月号外　日本共産党の活動と見解を紹介します。
日本共産党松戸・鎌ケ谷地区委員会　〒270-2252 松戸市千駄堀1810ー2　☎047-349-1544

党地区委員会ホームページ

市民の命と暮らし最優先の松戸市へ
ブレずにがんばる日本共産党の4議席

自治体のお仕事は？

「住民の健康と福祉の増進」（地方自治法第2条）が本業のはずです。松戸市はどうでしょうか？

松戸市では

2026年度の予算では国民健康保険料など約41億円の市民負担を増やす一方で、新松戸東側区画整理の赤字の穴埋めに30億円の税金をつぎ込もうとしています。他にも無謀な開発がめじろ押しです。

中学校給食無償化は5.4億円〔一般会計予算の0.3%弱〕でできます!

こんな市の仕事ぶりをチェックするのが市議会の役目ですが、市民負担増も無謀な開発もフリーパス（右の表を見てください）。

すべての議案をチェックするためには4つの常任委員会すべてに委員を出せる日本共産党の4議席が欠かせません。



2026年3月議会

議案	日本共産党	政策実現フォーラム・社民	公明党	清風まつど	松戸志政会	無所属
2026年度予算	×	○	○	○	○	△
市営水道料金値上げ	×	○	○	○	○	○
新松戸東側・松戸駅東側開発予算	×	×	○	○	○	△
国保・後期高齢者医療保険料値上げ	×	△	○	○	○	○
イラン攻撃の即時停止を求める意見書	○	○	×	×	×	△

○賛成　×反対　△賛否分かれる

災害対策、くらし・営業、医療・福祉、公共交通…
力合わせ市民のために働く市政を取り戻そう

世界でも日本でも、松戸でも市民の力で

ニューヨークでは昨年11月、民主的社会主義者（DSA）のゾーラン・マムダニさんが、公共取り戻そうと、家賃の凍結などを掲げて市長に。

日本でも、今年3月の清瀬市で地域図書館の再生を公約に掲げた共産党市議団長の原田ひろみさんが市長に当選。

松戸でも市民の声で、市役所の移転建て替えが現地建て替えに転換。小学校給食の無償化にも市民の声が生かされました。

実現します！ 市民アンケートのトップ5

1. 教職員不足の解消を	41.6%
2. 国民健康保険料の引き下げを	35.5%
3. 小中学校給食の無償化を	34.1%
4. 年金で入れる特養ホームを	34.0%
5. コミュニティバス・タクシー代補助を	30.0%

憲法を守り、国民が主人公をつらぬく日本共産党です

憲法と国連憲章が行動基準です

日本共産党の行動基準は、国内では日本国憲法です。憲法の全条項を守り、国民の命と暮らし、人権と民主主義に生かします。

国際的には国連憲章が行動基準です。戦争や紛争は国連憲章にもとづいて解決すべきであり、アメリカやロシア、イスラエルの横暴は許されません。

日本共産党リットリンク

皇室典範での共産党の主張にビックリ！

総選挙後の国会では、高市政権の数を頼んだ暴走に、自民党内からも批判の声が上がりました。

そのなかで、「女性天皇への道を閉ざす皇室典範改定案には反対」という日本共産党の主張が注目を浴びました。日本共産党は天皇の制度でも「その地位は国民の総意による」という憲法をそのまま生かします。

憲法9条は変えない 戦争準備の大軍拡やめる 税金は暮らしに回す！